

「賭博施設はもういらぬ！換金合法化を許すな！」

第二回パチンコ廃止を求める会デモ 5月11日・大宮

コール文(決定稿)

コールB

私どもはギャンブル依存症をつくりつづけるパチンコの廃止を求める国民有志です。ただいま日本には200万とも500万とも言われるギャンブル依存症の患者が存在します。

こうしたギャンブル依存症が生み出すものは、犯罪と家族の苦しみだけです。日本では刑法185条でハッキリと賭博は禁止されております、しかし同時に「一時の娯楽」の範囲のものならば違法にならないという例外規定もあります。つまり法律ではギャンブル性の高いものを賭博として禁止している反面、ギャンブル性の低いもの、「一時の娯楽」の範囲のものは禁止されていないのです。「一時の娯楽」であるから賭博ではないというのがパチンコの法的な根拠です。

しかし、パチンコの高いギャンブル性はもはや「一時の娯楽」の範囲を超えはつきりと賭博のレベルになっているのではないのでしょうか？

一時間に一万円も負ける実態をもつパチンコが果たして「一時の娯楽」でしょうか？

依存症を生み出し、数百万の人間が苦しむパチンコは果たして「一時の娯楽」でしょうか？

「一時の娯楽」のなのもと、繰り広げられる賭博行為をこれ以上放置することはゆるされません。

シュプレヒコール！

娯楽の名もと営業される脱法賭博を許さないぞ！

パチンコはギャンブルより悪質だ！

依存症を作るパチンコを撲滅するぞ！

大衆娯楽をなごる大衆墮落、パチンコを追放せよ！

カジノ！反対！

パチンコ！廃止！

カジノ法案を粉碎するぞ！

国民を食い物にするパチンコを許さないぞ！！

コール C

みなさま、わたくしたちはパチンコ廃止をもとめる国民有志です。
パチンコは依存症を生み、依存症は犯罪と家族の苦しみを生み出します。
ほんらい社会の問題としてパチンコについて踏み込んだ報道しなければならない
マスメディアはパチンコ産業から莫大な広告料をもらっています。
この広告収入のためマスコミは積極的にパチンコの問題をとりあげないようです。
しかし影響の大きい問題を取り上げて報道することはマスメディアの社会的使命から
言ってあたりまえではないでしょうか？
多くの国民を破滅させ、死に追いやっているパチンコの実態を知りながら、
金を受け取り、流行らせるように宣伝をすることは
マスメディアの社会的使命をすてていると言わざるを得ません。
パチンコ台のCMを流すテレビ。
パチンコ店の広告で稼ぐ新聞社。
ともにギャンブル依存症を生み出しているパチンコ産業の共犯者です。

我々は、パチンコ産業といっしょになって国民を食い物にするマスメディアを許しません。

シュプレヒコール！

マスコミはギャンブル依存症の実態を報道せよ！

ギャンブル依存症をつくるパチンコCMをやめろ！

新聞はパチンコ屋の折り込みチラシをやめろ！

パチンコ産業とともに国民を食い物にするマスコミは恥を知れ！

カジノ！反対！パチンコ！廃止！（数回繰り返す）

カジノ法案を粉砕するぞ！

国民を食い物にするパチンコを許さないぞ！

コールE

ご通行中のみなさん、私どもはパチンコ廃止を求める会、パチンコの規制強化をもとめる国民有志です。

ただいま、国会にカジノ法案が提出されております。

この法案は、可決する可能性が非常に高く、日本各地に、新たな賭博施設が造られることになりそうです。

カジノ解禁を推進する議員は、ギャンブル依存症について十分な対策をこうじると言っております。

しかし、厚生労働省による調査では、約500万人以上のギャンブル依存症あるという結果があります。

カジノがなくても、日本はすでに巨大なギャンブル大国になっていたのです。

そして500万人以上の依存症はほとんどがパチンコによってつくられたものです。

すでに500万人以上の依存症患者を生み出しているパチンコを規制せず、新たにカジノを作ることはギャンブル依存症をさらに増やすことになり、社会が被る悪影響は計り知れません。

すでに一万一千店パチンコ店がある日本に、新しい賭博施設は必要でしょうか？

依存症500万人が存在する日本にこれ以上の賭博施設は必要でしょうか？

依存症500万人を放置したまま、民間賭博であるカジノの解禁を許してはなりません。

シュプレヒコール！

パチンコの脱法性を放置したままの、カジノ解禁はゆるさないぞ！

一万店以上パチンコ店がある日本に、賭博施設はいらないぞ！

ギャンブル依存症を放置する厚生労働省を許さないぞ！

依存症500万人を放置したままのカジノ解禁はやめろ！

カジノ！反対！パチンコ！廃止！（数回くり返す）

カジノ法案を粉碎するぞ！

日本を破壊するパチンコを許さないぞ！

コールF

ご通行中のみなさま、私たちはパチンコ廃止を求める会、パチンコの規制を求める国民有志です。現在、カジノ法案と連動してパチンコの換金を合法化しようという動きがあります

パチンコが三店方式という、「店のとなりに偶然いた古物商が景品をかいとる」という方法で換金が行われており、この方法が、合法性を取り繕っているに過ぎないことはことは周知の事実です。

監督官庁の警察庁ですら「ただちに違法とはいえない」と合法性を保留した答弁をしています。合法といいきれない産業が全国11000店舗で営業を行い、500万人以上に依存症を拡大させている日本はとうてい法治国家とは呼べません。

風営法改正を目的とした議員連盟が結成されましたが、会合の内容から、パチンコ換金の合法化が狙いであることあきらかです。

パチンコ業界と政界のつながりがパチンコの規制がされない最大の理由といえますそして、ギャンブル性の高いパチンコが生み出したものは膨大な数のギャンブル依存症です。日本には500万人以上のの依存症患者が存在しており、借金、家庭崩壊、犯罪など、社会に深刻な影響を与えています。

このようなパチンコの換金を、規制するのではなく、法律を作り、合法化しようとすることは国民に対しての重大な裏切りではないでしょうか？

国民を苦しめる構造の法的整備を整えることは国会議員の仕事でしょうか？

依存症500万人の国民を見捨て、パチンコ業界に加担することは国会議員の仕事でしょうか？

我々はパチンコ業界に加担して換金合法化をすすめる国会議員を許しません。

シュプレヒコール

パチンコ換金合法化を目指す議連は、解散せよ！

カジノ法案に便乗した、パチンコ換金合法化を許さないぞ！

パチンコの利権にむらがる、国会議員は恥を知れ！

パチンコ規制の緩和のために働く、国会議員を許さないぞ！

カジノ！反対！パチンコ！廃止！（数回繰り返す）

カジノ法案を粉砕するぞ！

日本を破壊するパチンコを許さないぞ！